

糖尿病バイキング教室の紹介

栄養管理室 水野 智春

当院では、平成21年10月から糖尿病教育入院患者さんを対象とした『糖尿病バイキング教室』を毎月第3水曜日の12:00～13:00に4階デイルームで開催しています。

糖尿病食は一般的にヘルシー・うす味・制限食などのイメージがありますが、当院では『健康長寿食』と考えています。自分の活動量に見合った量で、いろいろな食材を利用したバランス食、そして、おいしく楽しく食べてしっかり動くことが糖尿病治療の基本です。退院後に外食する場合のことを想定し自分の適量、料理のバランスを糖尿病バイキング教室で学びます。糖尿病バイキング教室のプログラムは、管理栄養士から料理と選び方の説明を受けたのち、まず自分でメニューを見て、料理を選びます。その後、管理栄養士と選

び方や栄養量のチェックをして料理を取ります。もちろん、ごはんは患者さん自身で秤を使って計量します。バイキング教室の料理は、通常の病院食ではなく、レストランで食事することを想定したメニューです。若手の管理栄養士達が何度も試作を繰り返したメニューを調理師が腕を振ります。最近では、全国の郷土料理も取り入れ、記念すべき1回目は長崎県の大村寿司を提供しました。レシピ集も用意し、管理栄養士によるミニレクチャーも行います。また、テーマソングの披露や理学療法士の運動療法も加わり、ますますパワーアップしています。歌のタイトル「楽しく、賢く、食べましょう」の通り、楽しく食事療法を学ぶ場となっています。



医療ソーシャルワーカーをご存じですか？

突然の入院、病気の告知は私たちの生活にとって大きな出来事です。時には、家族全体の生活を揺るがすことにもなります。自分や家族の力で問題を解決できればよいのですが、困難な場合もあると思います。医療相談室では、医療ソーシャルワーカーが入院、療養に伴う生活問題について相談に応じています。問題を整理し、解決方法を一緒に考えさせていただきます。

現在、4名の医療ソーシャルワーカーが相談援助を行っています。ご相談の内容、プライバシーは守りますので、療養上困っていること、不安なことがありましたら、一度お気軽にご相談下さい。相談は無料です。

なお、原則予約制としておりますが、可能な限り当日のご相談にも対応致します。相談希望の方は、事前にお電話を入れていただくと、お待ちせずにお話を伺うことができます。

- | | |
|--|-------------------------------------|
| ◇突然の入院で医療費、生活費が心配 | ◇退院後の療養先を探したい |
| ◇身体障害者手帳を取りたい、障害者手帳を取るとどんなサービスが利用できるの？ | ◇休職中の所得保障制度について知りたい |
| ◇介護保険を利用したい、ヘルパーや介護保険施設を利用したい | ◇体に障害が残り、車いすでの生活になりそう。どんな制度が利用できるの？ |

～ 相談支援センター（よろず相談室内）のご案内 ～

【場 所】 診療棟1階、よろず相談室内（救急外来受付前）

【相談時間】 月曜日～金曜日：午前8時15分～午後5時

【休 日】 土曜日、日曜日、祝祭日、年末年始（12月29日～1月3日）

【電話番号】 052-652-5511（代表） 内線3031

交換に『医療ソーシャルワーカーに相談をしたい』とお伝え下さい。

【担当者】 竹内、小貝、奥村、田中

★中部ろうさい病院のホームページで、〈病院の情報〉〈フィリア・レター〉〈ろうさい病院つうしん〉がご覧いただけます。携帯電話からもアクセスできます。どうぞ、ご利用ください。